

公募型プロポーザルによる選定結果の公表

区立九段小学校・幼稚園の校舎は、大正15年に建設されて以来、80年以上が経過し、教育環境の改善が求められている。一方で、現校舎は関東大震災の復興小学校として建てられた経緯から、歴史的建造物としての価値が注目されている。

本プロポーザルは、九段小学校・幼稚園の施設整備において、安全性の確保とともに今日的な教育課題に対応できる教育環境を創出するなかで、いかに現校舎の歴史的価値を継承させていくかを課題として示し、課題解決に向けた幅広い提案を受けることを目的に実施した。

委員構成は、内部委員4名と各課題の難易度が高いことから、外部委員3名（景観・意匠系、建築保存系、学校建築系）の計7名とした。また、内部委員と外部委員の人数や配点のバランスを考慮して、外部委員の配点に重み付けをすることで、より公正な選定審査を実施した。

1 業務名

区立九段小学校・幼稚園施設整備基本設計業務

2 選定経緯等

- ・平成25年7月8日 プロポーザル公募開始
- ・平成25年7月19日 参加申込書提出期限
- ・平成25年7月22日 提案書提出要請
- ・平成25年8月16日 提案書提出期限
- ・平成25年9月3日 第一次審査（書類審査・ヒアリング実施者選定）
- ・平成25年9月13日 第二次審査（ヒアリング実施）
最優秀提案者及び次点者の選定

3 選定委員の構成

氏名	所属等	備考
鈴木 伸治	横浜市立大学 国際総合科学部教授	景観意匠系（都市デザイン・景観・歴史的環境保全）
後藤 治	工学院大学 建築学部教授	建築保存系（歴史的建築物（街並み）の保存・活用）
土屋 十二	聖徳大学大学院 教職研究科教授	学校建築系（体育科教育法）
◎ 歌川 さとみ	政策経営部長	千代田区職員

高橋 誠一郎	子ども・教育部 次世代育成担当部長	同上
辰島 健	子ども・教育部 子ども施設課長	同上
小川 東	政策経営部 施設経営課長	同上

◎：委員長

4 プロポーザル参加者

- ・参加申込書の提出 10者
- ・提案書の提出 9者
- ・第二次審査の実施 5者（順不同）
 - ・株式会社 石本建築事務所本社
 - ・株式会社 環境デザイン研究所
 - ・株式会社 久米設計
 - ・株式会社 佐藤総合計画
 - ・株式会社 日立建設設計

5 選定結果

最優秀提案者 株式会社 久米設計
東京都江東区潮見二丁目1番22号

次点者 株式会社 石本建築事務所本社
東京都千代田区九段南四丁目6番12号

6 所管課の名称及び所在地

千代田区政策経営部施設経営課
千代田区九段南1-2-1

7 審査結果一覧表

審査採点集計表			A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社	J社 辞退	
評価項目	評価の視点	配点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	
組織 評価	経営規模	経営規模は妥当であるか	3	3	3	2	2	2	3	2	2	2	
	業務執行技術力	当該業務を遂行するために必要な知識・経験を有しているか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	
	精通度	区の特殊事情を熟知しているか	3	2	0	0	0	2	1	0	3	0	
	取組体制	当該業務の取組体制は適切か	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	
	社会貢献 地域貢献	社会貢献及び地域貢献についての姿勢や取組はどうか	3	3	3	3	2	2	3	2	3	2	
担当者 評価	担当者の経験及び能力	主任担当者	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
		他の担当者	5	5	5	4	5	4	4	4	4	4	
計			25	23	21	19	19	20	21	17	21	16	0
提案 評価 (書類)	復興小学校の歴史的価値の継承と質の高い教育環境の整備との融合について	提案ごとに、下記項目について書類審査により評価する。 ・的確性(与条件との整合性が取れているか) ・創造性(工学的知見に基づく創造的な提案がされているか) ・実現性(提案内容が理論的に裏付けられており、実現性があるか)	5	2.6	3.3	2.9	3.3	2.4	3.3	2.4	3.6	2.9	
	協議会との協働による施設整備について		5	2.7	3.3	2.1	2.6	2.3	2.9	2.4	2.9	2.1	
	施設整備計画方針の考え方について		5	2.9	3.1	2.4	3.0	2.6	3.3	2.7	3.1	2.7	
計			15	8.1	9.7	7.4	8.9	7.3	9.4	7.6	9.6	7.7	0.0
第一次審査 合計			40	31.1	30.7	26.4	27.9	27.3	30.4	24.6	30.6	23.7	0.0
第一次審査 順位				1	2	7	5	6	4	8	3	9	
提案 評価 (ヒアリング)	復興小学校の歴史的価値の継承と質の高い教育環境の整備との融合について	提案ごとに、下記項目についてヒアリングにより評価する。 ・的確性(与条件との整合性が取れているか) ・創造性(工学的知見に基づく創造的な提案がされているか) ・実現性(提案内容が理論的に裏付けられており、実現性があるか)	15	6.2	11.3	0.0	9.9	0.0	9.9	0.0	10.9	0.0	
	協議会との協働による施設整備について		15	6.9	10.4	0.0	9.4	0.0	9.7	0.0	10.8	0.0	
	施設整備計画方針の5つの考え方について		15	7.9	11.6	0.0	9.4	0.0	10.6	0.0	9.0	0.0	
	取組姿勢		積極的に取組む意欲があるか	5	3.0	3.1	0.0	3.3	0.0	3.1	0.0	3.4	0.0
	説得性		提案内容の説得性が十分であるか	5	2.4	3.6	0.0	3.3	0.0	3.4	0.0	3.9	0.0
第二次審査 合計			55	26.4	40.1	0.0	35.2	0.0	36.7	0.0	38.0	0.0	
総合計			95	57.6	70.8	26.4	63.0	27.3	67.2	24.6	68.6	23.7	0.0
最終順位				5	1	7	4	6	3	8	2	9	